

## 自然災害と避難

あらゆる自然災害からの確に身を守ろう



### 風水害から身を守る

#### ■ 公共機関の情報を聞く

気象庁や自治体の災害情報をしっかり把握しよう。自治体から避難情報が発表されたら安全を確保した上で速やかに避難。

#### ■ 浸水危険箇所を知る

ハザードマップなどで浸水が起きやすい箇所を確認しておき、避難経路などを複数考えておこう。

#### ■ 排水設備の点検と清掃

雨水ますや側溝のまわりのゴミは常日頃から清掃し、水がしっかり排水するように気をつけよう。

#### ■ 簡単な浸水防止

土のう、水のう、止水板などを活用しよう。ゴミ袋に半分程度の水を入れた「簡易水のう」を並べたり、長い板を利用する方法も。

#### ■ 台風は通り過ぎるのを待つ

台風接近時に外にいた場合は、近くの施設で通り過ぎるのを待とう。自宅にいる場合は外出を控えよう。

#### ■ エレベーターは使わない

暴風で電線が切れると停電になり、エレベーターに閉じ込められるおそれがある。台風や大雨のときはなるべく階段を使おう。

#### ■ ひざ下まで水が来る前に避難する

浸水時に歩行可能な水位の目安はひざ下まで。水位が低くても水の勢いで動けなくなることもある。早めに避難を。冠水している道路を移動するときは傘などで地面を探って、溝や穴に転落しないように注意しよう。

#### ■ 地下からより高いところへ避難

地上が冠水すると地下に水が流れ込んで避難が難しくなることがある。地上に出て、2階以上の頑丈な建物に避難しよう。



### 土砂災害から身を守る

#### ■ 土砂災害の前兆を察知しよう

がけ崩れ

がけにひびが入ったり、小石がバラバラ落ちたり、がけから水が湧き出たりする。湧き水が止まる、濁る、地鳴りが聞こえるなど。

地滑り

地面のひび割れや陥没、亀裂や段差の発生、崖や斜面から水が噴き出す、井戸や沢の水が濁る、地鳴り・山鳴りがする、樹木が傾くなど。

土石流

山鳴りがする、急に川の水が濁り、流木がまざり始める。腐った土のおいがする、雨が続けるのに河の水位が下がる、立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえるなど。

#### ■ 避難場所を確認しておく

指定避難場所や連絡方法について、普段から家族で話し合い、避難経路も確認しておこう。避難のときは持ち物を最少限にして両手が使えるようにする。

#### ■ 早めの避難

危険が高まりそうだと感じたら、非常持ち出し袋を用意し、活動しやすい服装に着替えて、いつでも避難できるように準備しよう。

#### ■ 土砂災害危険箇所を知る

ハザードマップで地域の土砂災害危険箇所を確認しておこう。